

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】令和5年11月15日(2023.11.15)

【公開番号】特開2023-83314(P2023-83314A)

【公開日】令和5年6月15日(2023.6.15)

【年通号数】公開公報(特許)2023-111

【出願番号】特願2023-55188(P2023-55188)

【国際特許分類】

H04N 7/18(2006.01)

10

H04N 23/60(2023.01)

H04N 5/222(2006.01)

G06T 19/00(2011.01)

【F I】

H04N 7/18 K

H04N 7/18 E

H04N 23/60 500

H04N 5/222

G06T 19/00 A

20

【手続補正書】

【提出日】令和5年11月2日(2023.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザ操作に従って、仮想カメラが第1の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第1の方向に移動することを禁止するモードのいずれかに第1の設定を行う第1設定手段と、

ユーザ操作に従って、前記仮想カメラが第2の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第2の方向に移動することを禁止するモードのいずれかに第2の設定を行う第2設定手段と、

ユーザ操作に従って、前記仮想カメラが第3の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第3の方向に移動することを禁止するモードのいずれかに第3の設定を行う第3設定手段と、

前記仮想カメラが前記第1の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第1の方向に移動することを禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第1の情報と、前記仮想カメラが前記第2の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第2の方向に移動することを禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第2の情報と、前記仮想カメラが前記第3の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第3の方向に移動することを禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第3の情報と、を表示装置に表示させる表示手段と、

を有し、

前記第1の設定と前記第2の設定と前記第3の設定とを互いに独立に行うことができるこ

と、

を特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

30

40

50

ユーザ操作に従って、前記仮想カメラが第1の回転軸に対する回転移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第1の回転軸に対する回転移動することを禁止するモードのいずれかに第4の設定を行う第4設定手段と、

ユーザ操作に従って、前記仮想カメラが第2の回転軸に対する回転移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第2の回転軸に対する回転移動することを禁止するモードのいずれかに第5の設定を行う第5設定手段と、

ユーザ操作に従って、前記仮想カメラが第3の回転軸に対する回転移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第3の回転軸に対する回転移動することを禁止するモードのいずれかに第6の設定を行う第6設定手段と、

を更に有し、

10

前記第1の設定と前記第2の設定と前記第3の設定と前記第4の設定と前記第5の設定と前記第6の設定とを互いに独立に行うことができ、

前記表示手段は、前記仮想カメラが前記第1の回転軸に対する回転移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第1の回転軸に対する回転移動することを禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第4の情報と、前記仮想カメラが前記第2の回転軸に対する回転移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第2の回転軸に対する回転移動することを禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第5の情報と、前記仮想カメラが前記第3の回転軸に対する回転移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第3の回転軸に対する回転移動することを禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第6の情報と、を前記表示装置に表示させること、

20

を特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

ユーザ操作に従って、前記仮想カメラの画角を変更することを可能にするモードか前記仮想カメラの画角の変更を禁止するモードのいずれかに第7の設定を行う第7設定手段、

を更に有し、

前記第1の設定と前記第2の設定と前記第3の設定と前記第4の設定と前記第5の設定と前記第6の設定と前記第7の設定とを互いに独立に行うことができ、

前記表示手段は、前記仮想カメラの画角を変更することを可能にするモードか前記仮想カメラの画角の変更を禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第7の情報を前記表示装置に更に表示させること、

30

を特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記表示手段は、前記仮想カメラの前記第1の方向における位置を示す情報と、前記仮想カメラの前記第2の方向における位置を示す情報と、前記仮想カメラの前記第3の方向における位置を示す情報と、を前記表示装置に更に表示させること、

を特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項5】

操作装置を介して前記仮想カメラを移動させるための入力情報を取得する取得手段と、前記仮想カメラが前記第1の方向に移動することを可能にするモードが設定され、かつ、前記仮想カメラが前記第2の方向に移動することを可能にするモードが設定され、かつ、前記仮想カメラが前記第3の方向に移動することを禁止するモードが設定されている場合には、前記入力情報に、前記第3の方向に沿った前記仮想カメラの移動に関する情報が含まれていても、前記第3の方向への前記仮想カメラの移動を禁止する禁止手段と、

を更に有すること、

40

を特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

ユーザ操作に従って、仮想カメラが第1の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第1の方向に移動することを禁止するモードのいずれかに第1の設定を行う第1設定工程と、

ユーザ操作に従って、前記仮想カメラが第2の方向に移動することを可能にするモード

50

か前記仮想カメラが前記第2の方向に移動することを禁止するモードのいずれかに第2の設定を行う第2設定工程と、

ユーザ操作に従って、前記仮想カメラが第3の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第3の方向に移動することを禁止するモードのいずれかに第3の設定を行う第3設定工程と、

前記仮想カメラが前記第1の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第1の方向に移動することを禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第1の情報と、前記仮想カメラが前記第2の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第2の方向に移動することを禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第2の情報と、前記仮想カメラが前記第3の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第3の方向に移動することを禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第3の情報と、を表示装置に表示させる表示工程と、

を含み、

前記第1の設定と前記第2の設定と前記第3の設定とを互いに独立に行うことができるこ

と、
を特徴とする情報処理方法。

【請求項7】

コンピュータを、請求項1乃至5のいずれか1項に記載された情報処理装置の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題を解決するため、本発明の情報処理装置は、ユーザ操作に従って、仮想カメラが第1の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第1の方向に移動することを禁止するモードのいずれかに第1の設定を行う第1設定手段と、ユーザ操作に従って、前記仮想カメラが第2の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第2の方向に移動することを禁止するモードのいずれかに第2の設定を行う第2設定手段と、ユーザ操作に従って、前記仮想カメラが第3の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第3の方向に移動することを禁止するモードのいずれかに第3の設定を行う第3設定手段と、前記仮想カメラが前記第1の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第1の方向に移動することを禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第1の情報と、前記仮想カメラが前記第2の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第2の方向に移動することを禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第2の情報と、前記仮想カメラが前記第3の方向に移動することを可能にするモードか前記仮想カメラが前記第3の方向に移動することを禁止するモードのいずれが設定されているかを示す第3の情報と、を表示装置に表示させる表示手段と、を有し、前記第1の設定と前記第2の設定と前記第3の設定とを互いに独立に行うことができる。

10

20

30

40

50